

開校40周年 ～夢・挑戦・感動を大切に教育～



霞西中だより

第3号 令和4年6月1日発行 校長 向後 理恵子

〈学校教育目標〉
志高く、自ら行動する生徒の育成

〈目指す生徒像〉
○夢を持ち、自ら学ぶ生徒(自主)
○心豊かで、思いやりのある生徒(敬愛)
○心身ともに健康な生徒(錬磨)

開校40周年記念 第40回体育祭

全員主役 ～あきらめない仲間達と 笑顔あふれる体育祭～

5月のまぶしい青空の下、開校40周年記念の第40回体育祭が開催されました。前日の激しい雨により、グラウンドコンディションが心配されましたが、先生達や生徒のみなさんの準備のおかげで予定通り実施することができました。今年も感染症対策の観点から体育祭の参観は各家庭2名までと制限をしての開催となりましたが、「全員主役 あきらめない仲間達と 笑顔あふれる体育祭」のスローガン通りに、全員が主役の笑顔あふれる体育祭となりました。大縄跳びは各学級が一番練習を重ねてきた種目です。声を合わせて縄を跳ぶ姿を、参観されていた保護者の方も息をのんで見守ってくださいました。クラスの縄が途切れると「ドンマイ！がんばろう！」などのかけ声が、どの学年のどのクラスからも聞こえてきました。クラスがひとつの「チーム」となって励まし合い、全力を出す姿はとても素晴らしいものでした。

今年は40周年記念ということで、PTAの皆様のご協力により、団別のはちまきが用意されました。団別のダンスなど、短い期間で3年生のリーダーを中心に練習に取り組み、当日は弾けるような笑顔とダンスを披露してくれました。自分自身でつかみとった笑顔と感動を胸に、霞西中の仲間と共にまた、一歩前へ歩みを進めていきましょう。



美術部制作 体育祭スローガン



校旗を先頭に 入場行進



今年はクラス全員で跳んだ大縄跳び

【大縄跳び】	(合計回数)	(連続回数)
3年1位	: 3組 176回	3年1位 : 3組 44回
2年1位	: 2組 147回	2年1位 : 3組 32回
1年1位	: 3組 81回	1年1位 : 3組 14回
かがやき学級(敢闘賞): 合計 78回・連続 12回		
【走れ綱引き】	1位: 春団	【大玉転がしリレー】 1位: 春団
※開校40周年記念種目		
【全員リレー】		
3年1位	: 1組	2年1位 : 3組 1年1位 : 3組
【総合順位】		
3年1位	: 1組	2年1位 : 3組 1年1位 : 3組



団別種目 走れ綱引き

6月(June)行事予定

体育祭 各団の団旗



春 団



夏 団



秋 団



冬 団

心は見えなくても…

心は見えなくても心づかいは見える。
そんな内容の詩があります。

5月のある雨の朝、外はひどいどしゃ降り
で、当然生徒はみんなカサを差して登校
してきました。下駄箱の前はぬれている
だろう、と思って床を見ると、まるで
雨など降っていないかのように乾いて
いました。

そこにいた先生に聞いてみると、生徒
は皆外でいていねいにカサのしずくを
払ってから、校舎に入ってきていま
した。とのことでした。霞西中生の
美しい心遣いを見た思いでした。

	行事	部活動		下校
		朝	午後	
1	水	衣替え	○ ○	17:00
2	木	歯科検診／小中連絡協議会	× ×	15:00
3	金		○ ○	18:00
4	土			
5	日			
6	月		× ×	15:15
7	火	生徒朝会（学総壮行会）／生徒会中央委員会	○ ○	18:00
8	水	眼科検診	○ ○	18:00
9	木		○ ○	18:00
10	金	学校総合体育大会 1日目	× △	11:00
11	土	学校総合体育大会 2日目		
12	日	学校総合体育大会 3日目		
13	月	学校総合体育大会 4日目	× ×	15:15
14	火	学校総合体育大会 予備日	○ ○	18:00
15	水		○ ○	18:00
16	木	生徒総会	○ ○	18:00
17	金		○ ○	18:00
18	土			
19	日			
20	月		× ×	15:15
21	火	表彰朝会	○ ○	18:00
22	水		○ ○	18:00
23	木		○ ○	18:00
24	金	校外学習 3年	○ ○	18:00
25	土	期末テスト前部活動停止（～7/1）		
26	日			
27	月		× ×	15:15
28	火	放課後学習相談	× ×	16:45
29	水	放課後学習相談	× ×	16:45
30	木	期末テスト 1日目	× ×	14:20

録倉殿 二〇二二・六

「真田丸」に続いて三谷幸喜さんの作品
まず初めのテーマソングと映像から始まって
ドラマの中の人物たちの
それぞれの個性がみごとに描かれ
歴史上の人物の心がよみがえってくる
ことばづかいが現代のままでも
その方がストーリーをわかりやすくして
私たちに身近に感じさせる
今、私たちは生きている
そこに昔の人たちも俳優たちを通して
ともに今を生きている気になってくる
彼のドラマは常識を破って展開していく
なるほどそうだったかも知れないと思えてくる

【元本校職員 ○○○○氏 筆】